

企業訪問 資源循環レポート

坪井金属 有限会社

先代の慧眼を継承 「リサイクルシステム」で 循環型社会の実現

坪井金属 有限会社



左から(株)リサイクル・クリエイト代表取締役 水野映里香氏、坪井金属(有)専務取締役 水野清高氏、坪井妙子氏

昭和41年初代坪井義明氏は、名古屋市中区にて坪井金属有限会社を設立。昭和52年小牧市に事業所を開設し、金属スクラップの取り扱いを本格化。

平成12年愛知県などの産業廃棄物収集運搬業の許可取得。平成17年産業廃棄物中間処分の許可取得。翌18年金属リサイクルセンター開設、同年本社を現所在地に移転。

創立54年の歴史を持ち、金属スクラップと産業廃棄物処理の両輪で活躍される、同社専務取締役水野清高氏、坪井妙子氏、グループ会社の(株)リサイクル・クリエイト代表取締役 水野映里香氏にお話しをお伺いしました。

■金属リサイクルセンター

同センターでは主に非鉄金属(銅、真鍮、アルミ、ステンレス等)を細かく分別し、マテリアルリサイクルしています。

特に電線くずは剥線機やナゲット加工機などを使用し、銅と被覆に分離し、リサイクルを進めています。また、分析機を使用して多品種の金属の割合を出し、高品質な金属リサイクルを行っています。

■リサイクルステーション小牧

産廃中間処理場として選別、圧縮、破碎の許可を取得しています。平成27年には優良認定業者となり、取引会社からの信頼も厚く、適正処理に努めています。



坪井金属 有限会社

■代表者/代表取締役 坪井 孝憲

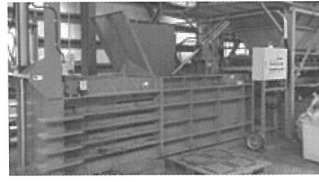
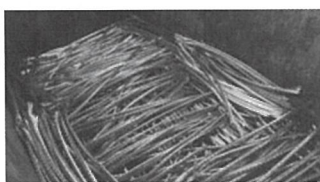
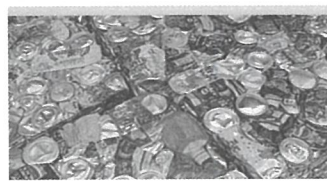
■所在地/愛知県小牧市東田中宇東嶋2057番1

TEL 0568-73-9141 FAX 0568-73-9158

運搬車両は17台（ユニック車、フックロール車、パッカー車、ウイング車など）保有され、急な対応にも応じフットワークの良さがお取引様からの好評を得ています。

■先代からの教え

金属原料の卸売業として事業をスタートされましたが、非鉄金属スクラップに着目、産業廃棄物処理に対応される等、時代のニーズに応え事業の幅を広げていきました。



常に新しいことにチャレンジする精神は二代目の坪井孝憲氏にも継承されています。

特に非鉄金属は色、艶、比重、音、形状などから見分ける力を養うトレーニングをカリキュラムの中に取り入れ、技術面を含めた社員教育が人財育成において効果を上げています。これらの日々切磋琢磨する取り組みは、企業コンセプトとして従業員全員に継承され、業界の社会的評価の向上に貢献しています。同社はお客様の要望に最大限に応え、循環型社会構築の実現において必要とされる総合リサイクル企業を目指しています。

愛産協が受託した千曲市災害廃棄物処理支援に参加して 坪井金属有限会社 藪 匡史氏

初回は、令和元年11月後半に現地（旧名月荘跡地隣接グラウンド）に入り、3日間災害廃棄物処理支援に参加しました。

山積されていた災害廃棄物は落ち着いた状況であり、先発の方のおかげで廃棄物の置き場所も区画分けされていましたので、作業がしやすい環境でした。



坪井金属（有）
藪 匡史 氏

現場で作業されていた方は7～8名で、重機に乗った方が災害廃棄物をばらし、私はその中の危険物（消火器等）、鉄等、木くず（樹木の枝、家屋の支柱等）その他を選別しました。地域柄石油ストーブの燃料タンクが多くありました。

水害による災害廃棄物ということもあり、泥や砂が多く混じり、通常業務であれば重機を使って行くことを、現地では人力で対応していましたので体力的にきつと感じましたが、少しでも現地の方の役に立ちたい、という想いが強かったので頑張れました。

二回目は、令和2年2月後半に4日間参加しました。

前回の作業は分別が主でしたが、今回は分別は終了しており災害廃棄物のトラックへの積み込みが主な作業でした。現場は6名ほどで運営し、初めての参加の方もいましたが皆で助け合い効率良く作業が

進められました。今回は仮置場の災害廃棄物を全て片付け、更地となった現場を確認でき、被災地への支援という任務を同業の皆様と共に果たせ、その一員としての達成感が込み上げてきました。

全国でも注目を浴びた災害廃棄物処理支援に二回も参加でき、業務の手順、緊急時における現場作業で気をつけるべき点など、多くのことを実践で学ばせていただく機会に恵まれ、私を派遣してくださった水野専務に感謝をしています。

私は高校生の時に東海豪雨に見舞われ、“困った時はお互い様”という気持ちから、ボランティアとして参加をしました。その時の「ありがとうね」の感謝の声が、今の私の在り方に大きく影響しています。

弊社での業務は廃棄物処理を通して、困った方々の力になれるのではないかとこの点において、私の目指すところに通ずるものがあり、大変やりがいを感じこの仕事を誇りに思っております。



到着時の仮置場



終了時の仮置場